

国分寺都市計画道路 3・2・8 号線沿道まちづくり
地区別検討会（第 1 回）の記録

平成 23 年 11 月 26 日（土） 10：00～11:30

- 目 次 -

1	開催概要	
1	1. 開催目的	1
2	2. 開催状況	1
3	3. 次第	1
2	議事概要	
1	1. 意見要旨	2
2	2. 議事概要	3
(1)	(1) 幹事の選出	3
(2)	(2) 自己紹介	3
(3)	(3) 意見交換	5
3	参考資料	
1	1. 広報資料	6
(1)	(1) 市報国分寺	6
(2)	(2) 国3・2・8号線沿道地区まちづくりニュース	6
2	2. 配布資料	7
(1)	(1) 国3・2・8号線沿道まちづくり計画(平成21年9月策定)に示される 課題への対応進捗状況	7
(2)	(2) 国3・2・8号線沿道まちづくりの具体化に関する市の考え方	7
(3)	(3) 地区別検討会検討プログラム(案)	8
(4)	(4) 環境施設帯の整備について	9
(5)	(5) 環境施設帯の整備について 参考資料	9
3	3. 説明資料	10
	揭示資料	19

1. 開催目的

平成 21 年 9 月に策定した「国分寺都市計画道路 3・2・8 号線（以下「国 3・2・8 号線」）沿道まちづくり計画」に示された将来像の実現を目指し、実効性のある施策の導入も視野に入れたまちづくりのあり方を検討していくため、国 3・2・8 号線整備に伴う環境変化の影響を直接受け、まちづくりの具体化に早急に取り組む必要がある国 3・2・8 号線から両側 30m の範囲（以下「検討エリア」）を対象に、地元の皆さんとともにまちづくりのあり方を検討する第 1 回「地区別検討会」を開催した。

2. 開催状況

日 時	平成 23 年 11 月 26 日（土）10:00～11:30
会 場	市役所 プレハブ会議室第一
参加者	16 名
傍聴者	13 名



3. 次第

1. 開会
2. 事務連絡（運営等について）
3. 説明

「国 3・2・8 号線沿道まちづくり計画」の概要
地区別検討会の目的と進め方・スケジュール
環境施設帯の整備について

4. 幹事の選出
5. 自己紹介・意見交換
6. 事務局より
7. 閉会

1. 意見要旨

好きな街	<ul style="list-style-type: none"> ・国分寺市（自然・静か・子供の教育） ・国立市の大学通り（緑や歩道を含む開放感、緊急時にもヘリポート等として使える） ・表参道、けやき並木のあるところ 	
街の将来イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・活力ある沿道・活性化 ・分断されない・迂回しなくて良い ・災害に強い街 ・静かな住宅地 ・明るい街 ・沿道と地域がつながって保全された街 ・人とお金が集まる街 ・単なる通過道路にしないために用途地域の見直し等を行う（ただし沿道に大型店舗ができて渋滞するのは困る） ・子供が安心して遊べる街 ・人が歩きたくなる街 ・多様なお店があるにぎわいのある街 ・広い農地を活用する（農業を継続したい人は生産緑地とする） ・都市開発により土地の有効利用ができる街 ・生活道路を重視する ・住宅地に広い道路ができるので不平不満がでるのは仕方がない。そのような不平不満を解消できる街 	
地区別検討会の進め方・検討テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・提言書の内容が地区別検討会で検討した内容から変えられることがないようにしてほしい ・会議の終了時間を示してほしい ニュースには掲載しているが案内状にも掲載するよう次回から留意する ・多くの人に参加できる曜日に開催してほしい（休日） ・地権者の思いを優先してほしい 	
次回見学会で行きたいところ	<ul style="list-style-type: none"> ・成功例だけでなく失敗例も見てみたい ・歩行者と自転車の分離方法を見てみたい ・東八道路（木が多すぎる、通過道路になっている、沿道施設へのアクセスが悪い、無駄な残地がある） ・小平 3・3・8 号線の青梅街道と新青梅街道との間の区間 ・国立市の大学通り（歩行者と自転車が共生） ・府中所沢線の府中病院前（坂道で自転車のスピードが速く危険） ・表参道（にぎやか・きれい） ・甲州街道の南武線矢川駅南（歩道が狭い） <p>（見学会の場所は本日の意見を踏まえて事務局に一任する）</p>	
その他	道路整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・国 3・2・8 号線による地域分断が心配 ・国 3・2・8 号線は予定通り H27 年に完成する予定か。 用地取得次第だが現時点では H27 年完成予定である ・50km/h の制限速度は市に悪影を与える ・空中道路（横断歩道橋）をつくる
	現状について	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はのどかで住みやすい町である ・個人的には農業を続けるのが難しい状況にある ・残地内での建て替えに悩んでいる

2. 議事概要

(1) 幹事の選出

互選により北地区幹事を1名選出。
南地区は次回以降選出することとする。

(2) 自己紹介

東戸倉で生まれて60年近くになる。昔は五日市街道を戦車が通った記憶もある。当時は恋ヶ窪駅もなく鷹の台駅を利用しており、23区に行くときは「東京に行く」と言って、国分寺は田舎だという感覚だった。国分寺市で一番幅の広い道路ができるので、活力のある沿道ができればと思っている。好きな街は表参道である。

国分寺市で一番幅の広い道路ができるので、地域が分断されることが心配である。道路ができたことで沈み込まない、活力のある、災害にも強い街、地域が生き生きとするような、道路ができることで市が活性化するような道路ができればいいと思っている。

新設される国3・2・8号線から空中道路(歩道)ができることを希望する。制限速度が50km/hでは市が相当のダメージを受けることになると考えている。

市内の別の場所から今の場所に引っ越してきたこともあり、好きな街は国分寺市である。その理由は、自然が豊かであること、静かであることである。また、引っ越したときには国3・2・8号線の計画もあり、にぎやかになることも想像していた。ただし、活発でにぎやかで活力ある道路も大切だが、なるべく静かな住宅も確保してもらいたい。

勤務地がこの地域にある。国分寺の良いところは、のどかで住みやすい街であるところだと感じている。道路によって国分寺市が活性化するといいと思っている。

4月に江戸川区から引っ越してきた。自然が豊かで住みやすく子供の教育にも良いところが引っ越してきた理由である。沿道が地域と密接につながって、皆さんが手を入れて、常に美しい街並みが保全できるような取組ができればと考えている。

恋ヶ窪駅から北に行った畑の近くに住んでいる。その辺りは広い農地が多い。また、道路によって分断される地域であり、道路ができることで街が変わってくると思うが、コミュニティが分断されることのない明るい街を望んでいる。

好きな街は国立市の大学通りである。自転車レーンや歩行空間、植栽などが気に入っているが、荷下ろしのスペースが不足しているので違法駐車が増えない。災害時には、ヘリや軽飛行機が着陸できる幅があるので、災害時や緊急の患者などを大きな病院に運ぶことができる。将来のイメージとしては、人とお金が集まるように道路を工夫しないと、市の財政も逼迫しているので、その辺りを考えていきたいと思う。

生まれ育った街なので、国 3・2・8 号線には期待している。好きな街は表参道である。活気ある街にするためには人とお金が集まるようなまちづくりが必要だと思う。

内藤に畑を持っている。道路ができることで簡単に横断できなくなることがないように、迂回しなくても良い道づくりをお願いしたい。

オーバースパスにかかる関係で、既にセットバックした土地をさらに買収されることになったが、お国のために仕方がないと前向きに考えている。道路に対しては、市が単なる通過点にならず税収が上がるように、皆さんの賛同を得ながら、用途地域や容積率、建ぺい率の見直しをしてほしいと思う。会議について、終了時間が記載されていなかったので次からは気をつけてほしい。また、勤め人は平日は参加できないので、今後も、参加者の意向を踏まえ、できるだけ多くの人が参加できる日程としてほしい。

府中のケヤキ並木のそばで生まれ育って、40年ほど前に引っ越してきた。そのため、ケヤキ並木が好きである。道路によって外出する人、歩く人が増えれば良いと思う。また、孫がいるので、孫が安心して遊べる街がよいと思う。

道路整備には賛成だが、家の建て替えをしないといけないのが残念である。今は横浜に住んでいるが、そのうち戻ってきたいと思っている。

好きな街は、今回の計画に近いところでは、大学通りなど。緑と歩道があり、開放感がある。将来イメージは、大学通りのように、多様なお店や診療所などがあるような方向性が良いと思う。用途地域にも関係すると思う。沿道まちづくり計画を検討したときに出された考えに沿って、多種多様な業種が立地するにぎわいのある街がよい。

好きな街は自分が生まれ育ったこの街である。住宅の中を通ることで、狭い土地の中に急に広い道路ができることで不平不満があると思う。そのような中で、活気がある街にするにはどうしたらいいかは難しい問題である。沿道にある広い畑など、市の税収を上げるために用途地域の見直しも必要かと思う。しかし、沿道に大型店舗ができることで渋滞してしまうのも困る。自分たちや子供の将来を考えると、国分寺にお金が落ちるような道路ができればと思う。技術的な問題に関しては専門家の意見も聴いて、最善の方法を皆さんと考えていきたい。

生産緑地で税金が安いのが、農業は体が資本なため、農業を続けるのも難しい。本当は広い道路ができるのはいいが、しかし、せっかく広い道路ができるのなら、都市開発をしてほしい。農地や屋敷をとられた人のことを思うと、地権者を優先してほしい。用途地域を見直して、土地が何にでも利用できるようにしてほしい。生活道路も大切にしてほしい。特に内藤橋付近は、道路の幅が広く立体交差もあるため、住宅には相応しくない。用途地域を見直して土地の有効利用(高い建物)ができるようにしてほしい。農業を続けたい人は生産緑地とし、誰もがそれぞれの目的に合わせた土地の使い方ができるようにしてほしい。

(3) 意見交換

見学会では、最も成功しているところと、最も失敗しているところの両極端を見てみたい。

東八道路は、クスノキがありすぎて、日陰になるし、防犯にも悪いのであまり好ましくないと思う。交通量が多いため排気ガスが多く、沿道の商業施設の駐車場のアクセスが悪く1車線がつぶれて危なくなっている。また、よく分からない側道の切れ端が残っているのが無駄である。

既に完成している小平 3・3・8 号線の旧青梅街道から新青梅街道の間の部分。また、府中 3・2・8 号線の東八道路の付近。

最近、自転車と歩行者の事故が増えているというニュースを多く聞く。大学通りは無理に自転車道を分離していて危ないが、歩行者と自転車の分離がうまくできているようなところも見学のポイントにあげても良いと思う。なだらかな坂である府中病院の前は、歩道は広いが歩行者と自転車が分離されていないので、自転車が勢いよく走ってきて危険である。減速のための杭も、自転車がぶつかりそうで危ない。

にぎやかなところと言うと表参道などは、きれいで人が集まって良いと思うが、この地区のどこに当てはまるのか分からない。府中市の完成区間とつながるので、そことイメージを合わせる必要もあると思う。

J R 南武線の矢川駅南の甲州街道は歩道が狭くなっている

他のワーキングで、検討会でまとめた内容と冊子にして市長に提言した内容が、学識者の考えで変えられていやな思いをしたことがある。そのようなことがないようにしてほしい。

道路計画について、予定通り平成 27 年度に完成する予定なのか。
用地取得次第だが現時点では H27 年度完成予定である。

勤務先の用地の 4 分の 1 が道路用地となり、残った土地での建物の配置に悩んでいる。

1. 広報資料

(1) 市報国分寺 (平成 23 年 11 月 15 日号)

国分寺都市計画道路 3・2・8号線沿道 まちづくり

第1回 「地区別検討会」開催

市は、国分寺都市計画道路3・2・8号線(以下「国3・2・8号線」)整備を契機とした「国3・2・8号線沿道まちづくり計画」を平成21年9月に策定しました。

今後は、国3・2・8号線整備に伴う環境変化の影響を直接受け、まちづくりの具体化に早急に取り組む必要がある国3・2・8号線から両側30mの範囲(以下「検討エリア」)を対象に、実効性のある施策の導入も視野に入れたまちづくりのあり方を検討していきます。

そこで、地元の皆さんとともにまちづくりのあり方を検討する、第1回「地区別検討会」を次のとおり開催します。

【日時】 11月26日(土)午前10時～正午 **【会場】** 市役所プレハブ会議室第一(対象)検討エリアに在住する方および土地・建物を所有する方※事前登録が必要です。都市計画課(市役所第2庁舎2階)へ直接または電話で※傍聴は誰でもできます。当日直接会場へ。

↓都市計画課(内55)

(2) 国3・2・8号線沿道地区まちづくりニュース(第18号)

国3・2・8号線沿道地区 まちづくりニュース 第20号

発行日：平成 23 年 11 月

編集：国分寺市都市建設部都市計画課
〒185-8501 国分寺市東1-6-1 第2庁舎2階
電話：042-325-0111(内線455) FAX：042-324-0160
city.kokubunji@city.kokubunji.tokyo.jp

11/26 第1回地区別検討会を開催します

市は今後、国3・2・8号線整備に伴う環境変化の影響を直接受け、まちづくりの具体化に早急に取り組む必要がある国3・2・8号線から両側30mの範囲(以下「検討エリア」)を対象に、実効性のある施策の導入も視野に入れたまちづくりのあり方を検討していきます。

そこで、地元の皆さんとともにまちづくりのあり方を検討する第1回地区別検討会を開催します。

メンバーは検討エリアに在住する方および土地・建物を所有する方で事前登録を行った方です。(登録方法は裏面下部に記載)

なお、傍聴はどなたでもできます。直接会場へお越しください。

また、当日は東京都より「国3・2・8号線(環状施設帯)地区別検討会」についても説明いたします。

■当日の予定(概ね2時間程度を予定)

- 「国3・2・8号線まちづくり計画」について
- 環状施設帯の整備について(東京都)
- 地区別検討会の進め方について
- 意見交換

今後の地区別検討会の開催予定

第1回地区別検討会開催後は、事例の見学や地区別に分かれてまちづくりのルールについての話し合いを基めます。その後、平成24年度中に「国3・2・8号線まちづくり提言書」を検討会から市長に報告する予定です。

第1回(合同)11/26
第2回(合同)
第3回以降(地区別)
最終回(合同)

「国3・2・8号線まちづくり提言書」の提出

今後は、このまちづくりニュースで地区別検討会の検討経過の報告や意見募集を行います。

地区別検討会のメンバーを募集しています

★現在30名程度の登録がありますが、第2回以降から参加するメンバーを随時募集しています。

★国分寺市都市建設部都市計画課まで、住所、氏名、連絡先をお伝えください。

★メンバーの対象者は、検討エリア(国3・2・8号線から両側30mの範囲)内に計ける土地・建物の所有者および在住する市民で、まちづくりに関心のある方とします。

【国分寺市都市建設部都市計画課】
〒185-8501
国分寺市東1-6-1 第2庁舎2階
電話：042-325-0111(内線455)
FAX：042-324-0160
Email: toshi@kokubunji.city.kokubunji.tokyo.jp

※沿道まちづくり計画、地区別検討会の検討経過については、オーナー(市役所附属棟)、内線地球センターのホームページでご覧いただけます。
<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/tankumi/13063/>

2. 配布資料

(1) 国3・2・8号線沿道まちづくり計画（平成21年9月策定）に示される課題への対応進捗状況

第1回地区別検討会 資料1

国3・2・8号線沿道まちづくり計画（平成21年9月策定）に示される課題への対応進捗状況

課題	着手済	進捗状況 地区別検討会にて 検討予定	今後検討		
土地利用	● 住環境、生活環境に及ぼす影響、地域の活性化などを考慮した土地利用・まちづくり		● まちづくり教団にて実証化手法の紹介	● 推定エリア外でまちづくり推進地区（沿道100m）のまちづくりについては、アンケート(※)等により住民意向を把握し、判断による検討予定	
	● 沿道における多様な土地利用（農地と住宅地の共存、農地など）の検討				
	● 地域ごとに自由に変化のある面白いまちづくり				
	● 活気があり人が集まるまちづくり				
	● 駅周辺などの既存商店街と連携した沿道地域の活性化				
緑・景観	● 園分寺の緑の特徴である榎樹林、桐林の活用	● 緑の基本計画の策定		アンケート(※)等により住民意向を把握し、判断による検討予定	
	● 砂川用水の利活用の検討				
	● 道路整備と合わせて沿道の緑をつなぐグリーンベルトの検討	● 連携ガイドラインの策定 ● まちづくり教団にて、モデル地区に自覚化計画実証化手法の紹介	● 連携の機会に基づき、緑を創出する方法について検討予定		
	● 沿道の地域ごとの特性に配慮した緑化対策		● 沿道毎の緑化方針について検討予定		
環境施設等	● 市全域を貫通した緑の検討	● 緑の基本計画の策定			
	● 沿道の土地利用を踏まえた環境施設等のあり方				
	● 地域の力（市民参加）で行う施設管理の取り組み		● 東京都と交えて環境施設等について検討予定 ● 沿道の土地利用と環境施設等のつくりかたに留意しないよう、地区別検討会で検討の上、単に要望・地域の力で行う施設管理の取り組み等について調査	アンケート(※)等により住民意向を把握し、判断による検討予定	
	● 加減コミュニティの活性化の場としての活用				
身近な生活環境	● 防犯に配慮した見守りのよい環境施設等				
	● 生活道路の交通安全対策	● まちづくり教団にて実証化手法の紹介	国3・2・8号線に準ずる沿道について、交通安全に配慮出来るよう検討予定	地区別検討会での検討を踏まえた交通安全対策について道路管理者と連携	
	● 犯罪を誘発しないよう見通しに配慮した緑の検討		● 沿道環境の検討を行う中で緑化について検討予定		
	● 生活動線を踏まえた情報施設の設置場所の検討	● 情報施設設置方針を都へ要望 ● 沿道の使い方に伴う必要調査や生活動線を把握し、結果を踏まえた方針を策定		沿道の使い方に伴う必要調査等を踏まえた情報施設設置方針を都に要望	
	● 国3・2・8号線の防災拠点としての活用		● 沿道環境の不適合について検討予定		
● 子ども達の教育環境に配慮したまちづくり	● まちづくり教団にて実証化手法の紹介	● まちづくり教団にて実証化手法の紹介	● 推定エリア外でまちづくり推進地区（沿道100m）のまちづくりについては、アンケート(※)等により住民意向を把握し、判断による検討予定		
● 子ども達の通学の安全や、雨にでも安心して通学の整備		● 東京都と交えて環境施設等について検討予定	● 歩行者の安全性確保について、都に要望を続ける		

(※)地区別検討会開催時に、まちづくり推進地区（沿道100m）の住民に対して行うアンケート

(2) 国3・2・8号線沿道まちづくりの具体化に関する市の考え方

第1回地区別検討会 資料2

国3・2・8号線沿道まちづくりの具体化に関する市の考え方 (まちづくり具体化方針)

はじめに

市の中心を南北に貫く園分寺街道(国3・2・8号線(以下「国3・2・8号線」))は、多摩地域における南北方向の骨格幹線道路であり、その整備により交通の円滑化や都市圏の連携強化などの効果が期待されています。

市は国3・2・8号線の整備を機に、その沿道地区のまちづくりを進めるため、まちづくり条例に基づき「国3・2・8号線沿道まちづくり推進地区(以下「推進地区」)；道路用地境界から沿道約100mの範囲」を指定し、住環境や生活環境の向上を図ることで、市全体の活性化に寄与する沿道空間の創出を目指す観点から「国3・2・8号線沿道まちづくり計画」を策定しました。

今回は、まちの将来像の実現に向けた具体化策を検討し、市民とともに実行していく必要があります。そこで、「国3・2・8号線沿道まちづくりの具体化に関する市の考え方(以下「まちづくりの具体化方針」)」では、まちの将来像の実現に向けた具体化策についての市の考え方を示します。

まちづくりの具体化に向けた前提条件(背景・上位計画での位置づけ)

■ 背景：国3・2・8号線の整備による環境の変化

国3・2・8号線が市南地区の中へ新設されることで、それに接する部分では環境が変化します。これを機に、まちが住み続けられる環境となるためには、良好な住環境の保全だけでなく、活気ある沿道空間を創出することが必要です。これらを踏まえ、多様な土地利用と調和したまちづくりの具体化について取り組むことが必要です。

■ 「国3・2・8号線沿道まちづくり計画」での位置づけ

沿道まちづくりの将来像については、平成21年9月に策定された「国3・2・8号線沿道まちづくり計画」において「人が暮る 地域が輝く 緑豊かなまち」と定められています。推進地区の中でも国3・2・8号線に接する部分については、「道路整備に伴い魅力や園分寺らしさを高める、まちづくりを検討していくエリア」として位置づけられています。

国3・2・8号線 沿道のまちの将来像

- 将来像 「人が暮る 地域が輝く 緑豊かなまち」
- 基本理念
 - 1 多様な土地利用と調和した園分寺らしいまちづくり
 - 2 良好な「暮らし・住環境」の保全と創出を進めるまちづくり
 - 3 「魅力」と「交流」を定すまちづくり
 - 4 暮らしに「安全」「安心」をもたらすまちづくり
 - 5 連携の形成による「緑」と「景観」のまちづくり

まちづくりの具体化を進めるにあたり(市民参加)

■ 検討組織：地区別検討会の設置

地区別検討会の決定などにより、検討エリアに居住している方々(土地・建物の所有者)は、土地利用についてルールによる一定の制限を受けることになるため、まちづくりの具体化に関する検討は、検討エリアにおける土地・建物の所有者および在住する市民でそのまちづくりに関心のある方々により行います。

■ 情報提供・意見反映

検討エリアにおけるまちづくりの具体的な検討を進めるに際しては、アンケート等の形式で、推進地区内その他の市民からも意見を聴き、適宜反映していくこととします。

まちづくりの具体化に関する市の考え方

■ 具体化の方針

まちづくりの具体化にあたっては、「国3・2・8号線沿道まちづくり計画」に示された将来像とまちの基本理念を踏まえ、**地域の魅力や園分寺らしさを高めることを基本的な目標として取り扱います。**

■ 具体化の方法

良好な住環境の保全だけでなく、活気ある沿道空間の創出につながる良好なまちづくりを進めるためのルールが必要で、そこで、まちづくりを具体化するために、**推進地区指定の変更や地区別検討会の導入などを行い、活気あるまちづくりを推進する必要があります。**

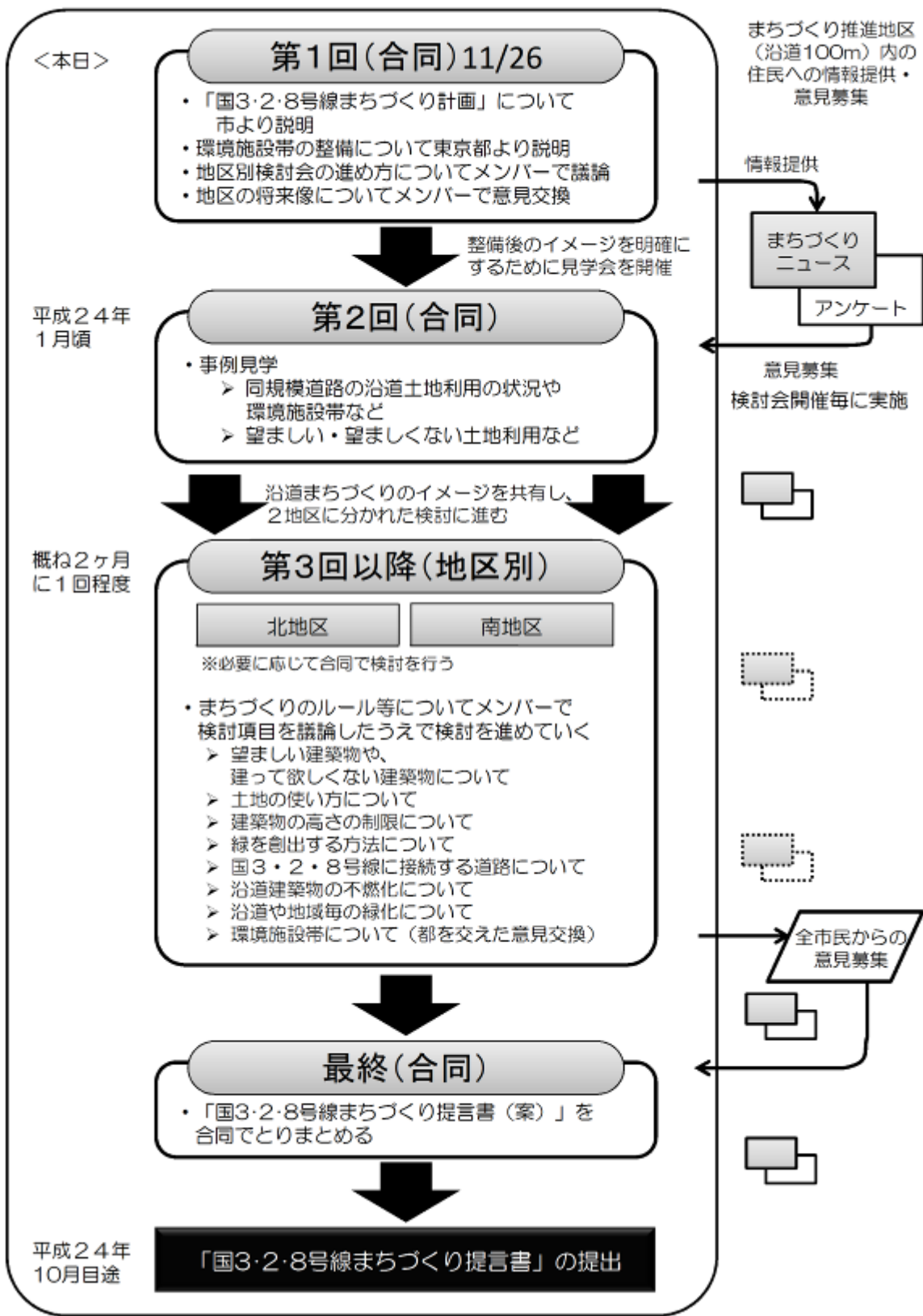
■ 具体化に取り組む範囲

国3・2・8号線整備に伴う環境変化を直感受け得る範囲は、まちづくりの具体化を早急に行う必要があることから、その範囲は「用途地域等に関する法定資料及び指定基準(東京都策定)」に基づき、国3・2・8号線から**沿道30mの範囲(以下「検討エリア」)**とします。

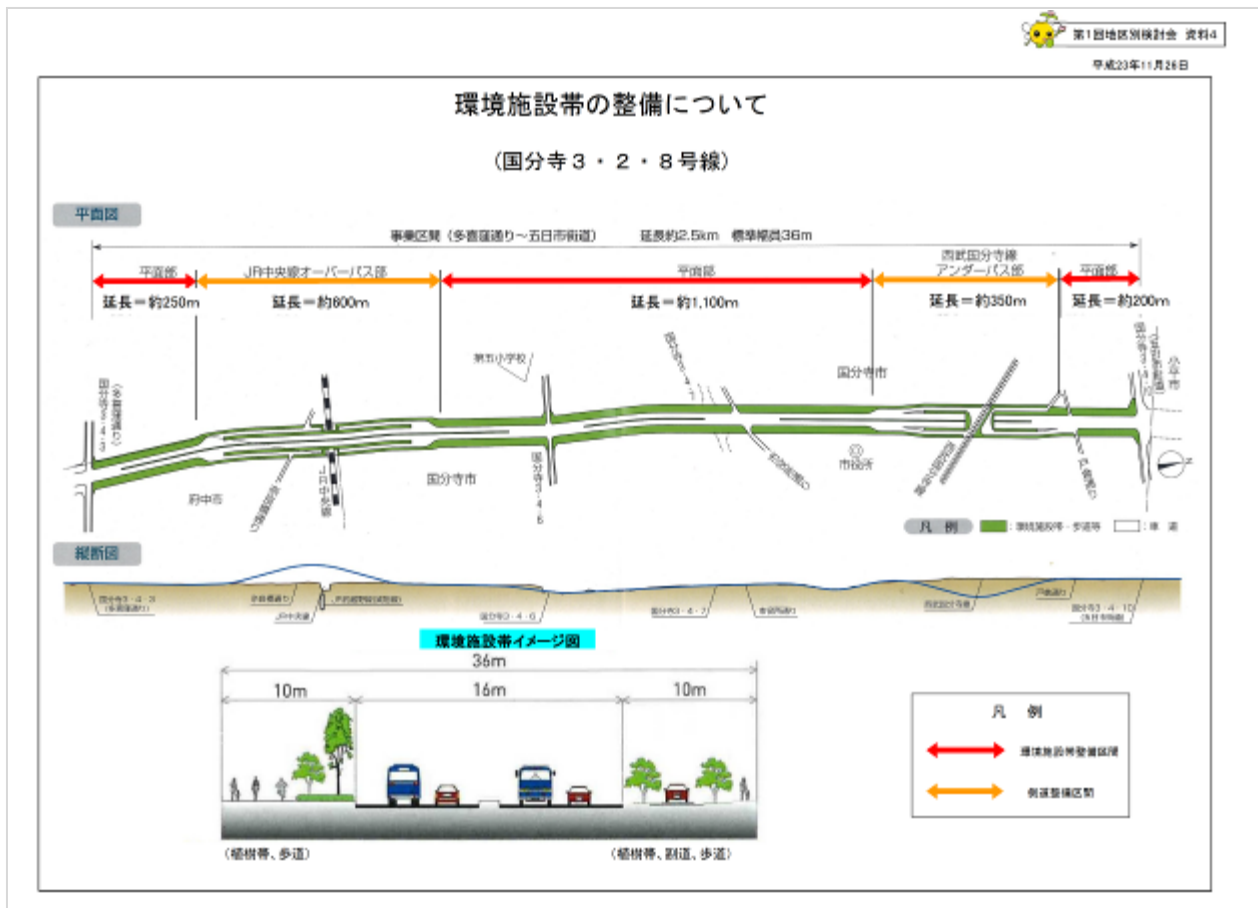
推進地区における検討エリア以外のまちづくりの具体化については、それに伴う市民の意見を聞くなどしながら、必要に応じて検討を進めることとします。

(3) 地区別検討会検討プログラム(案)

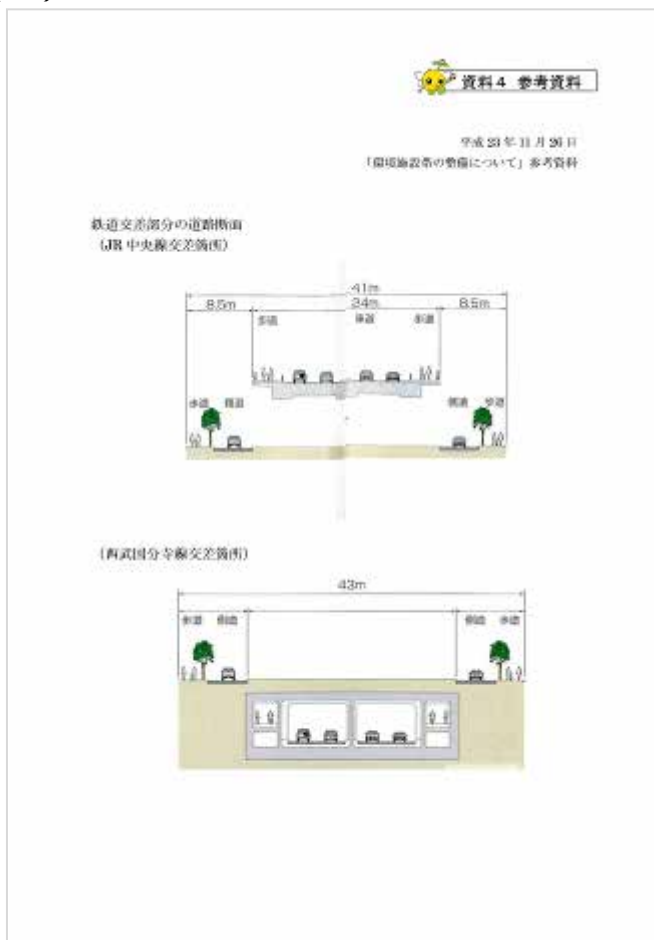
地区別検討会 検討プログラム(案)



(4) 環境施設帯の整備について



(5) 環境施設帯の整備について 参考資料





国分寺都市計画道路3・2・8号線 沿道まちづくり地区別検討会(第1回)

--- 本日のプログラム ---

1. 開会
2. 事務連絡(運営等について)
3. 説明
 - 「国3・2・8号線沿道まちづくり計画」の概要
 - 地区別検討会の目的と進め方・スケジュール
 - 環境施設帯の整備について
4. 幹事の選出
5. 自己紹介・意見交換
6. 事務局より
7. 閉会

「国分寺都市計画道路3・2・8号線 沿道まちづくり計画」の概要

<説明の内容>

- ・計画策定の背景と目的
- ・沿道まちづくり推進地区の対象範囲
- ・国3・2・8号線 沿道のまちの将来像
- ・国3・2・8号線沿道まちづくり方針



国3・2・8号線の概要

<期待される効果>

- 交通分散による渋滞緩和
- 交通の円滑化
- 安全・安心で快適な都市空間の創出
- 防災機能の向上など

■ 国分寺都市計画道路3-2-8号府中所沢線

- 車線数：往復4車線
- 道路幅員：36m（標準部）
車道16m＋環境施設帯10m×2
- 整備延長：約2.5km
- 事業主体：東京都
- 事業期間：平成19～27年度（予定）



■ 計画位置図

計画策定の背景と目的

ほぼ全区間が新設・・・

<沿道地区の市民生活を中心に様々な課題が予見>

生活動線の変化

地域コミュニティの変化 など

市民と市が協力して、**将来の方向性**を定めることが必要

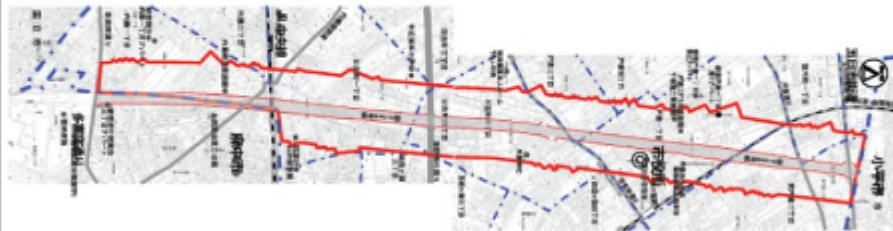
国3・2・8号線沿道まちづくり計画を策定

沿道まちづくり推進地区の対象範囲

概要版2ページ

「国分寺市まちづくり条例」に基づく、まちづくりを重点的に推進する必要がある「推進地区」に指定

国3・2・8号線の道路用地境界から両側約100mの範囲



国3・2・8号線沿道のまちの将来像

概要版11,12ページ

基本理念

1. 多様な土地利用と調和した国分寺らしいまちづくり
2. 良好な「暮らし・住環境」の保全と創出を進めるまちづくり
3. 「活力」と「交流」を促すまちづくり
4. 暮らしに「安全」「安心」をもたらすまちづくり
5. 環境軸の形成による「緑」と「景観」のまちづくり

将来像

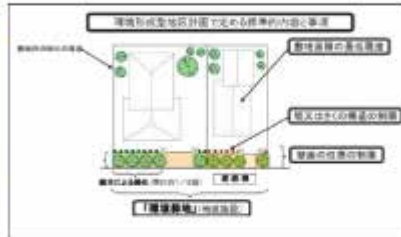
「人が躍る 地域が輝く 緑豊かなまち」

土地利用方針

多様な土地利用と住環境
などの調和を可能にする
地区計画その他の整備手法
の導入

良好な住環境に向けた
都市農地の保全

国分寺らしさを活かした
活力と交流を促す
まちづくり



例：地区計画

緑・景観形成方針

水・みどり資源の
保全・活用

環境施設帯と連携した
環境軸の形成

緑と調和した魅力ある
まちなみの形成



例：建築協定による宅地内緑化

環境施設帯形成方針

沿道環境に応じた
環境施設帯の整備

魅力ある歩道・
自転車道づくり

人と人との交流の場
としての活用



例：安全・安心に配慮した歩行者・自転車空間イメージ



例：子ども達による花の手入れ

身近な生活環境形成方針

誰もが快適に暮らせる
生活環境づくり

安全・安心に暮らせる
生活環境づくり

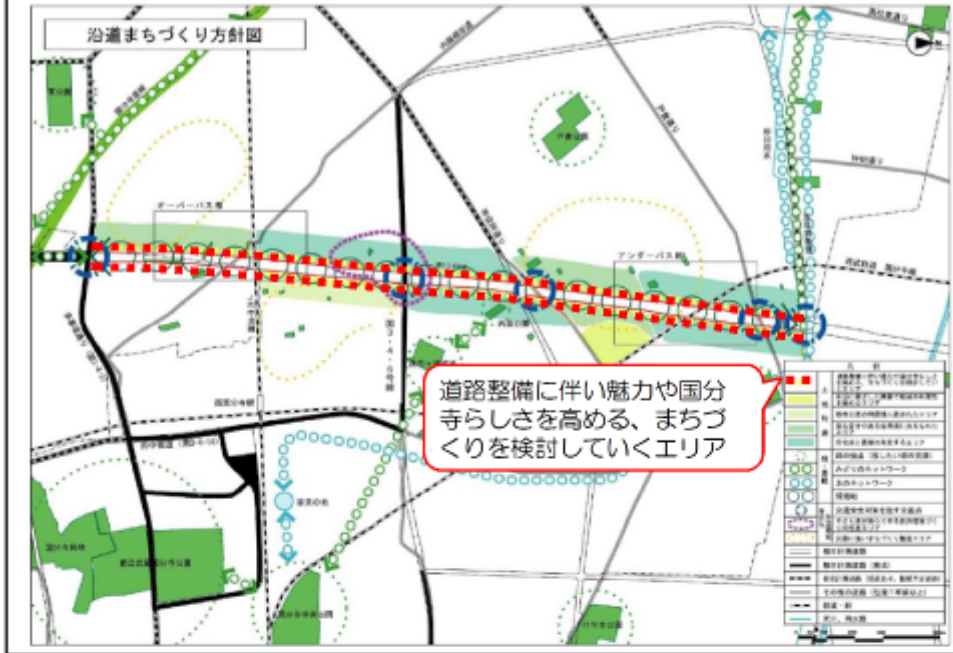
災害に強いまちづくり



例：災害時の水の確保



例：速度軽減対策



地区別検討会の目的と進め方・スケジュール

<説明の内容>

- まちづくり具体化方針
- 地区別検討会にて検討する内容
- 地区別検討会プログラム（案）



まちづくり具体化方針



配布資料2

■ 具体化の方針

- ・ 「国3・2・8号線沿道まちづくり計画」の将来像と5つの基本理念
- ・ 活力ある沿道空間の創出

■ 具体化の方法

- ・ まちづくりのルールを決める
例) 用途地域指定の変更、地区整備計画の導入

■ 具体化に取り組む範囲

- ・ 国3・2・8号線整備に伴う環境変化を直接受け、まちづくりの具体化を早急に行う必要がある範囲 (⇒ 国3・2・8号線から両側30mの範囲)



地区別検討会にて検討する内容-1



配布資料1

土地利用

- ・ 望ましい建築物や、建って欲しくない建築物について
- ・ 建築物の高さの制限について
- ・ 敷地の広さについて
- ・ 土地の使い方について

緑・景観

- ・ 緑を創出する方法について
- ・ 地区毎の緑化方策について

地区別検討会にて検討する内容-2



配布資料1

環境施設帯

- ・ 環境施設帯についての都を交えた意見交換
- ・ 沿道の土地利用との整合の確認
- ・ 地域で行う植栽管理等について

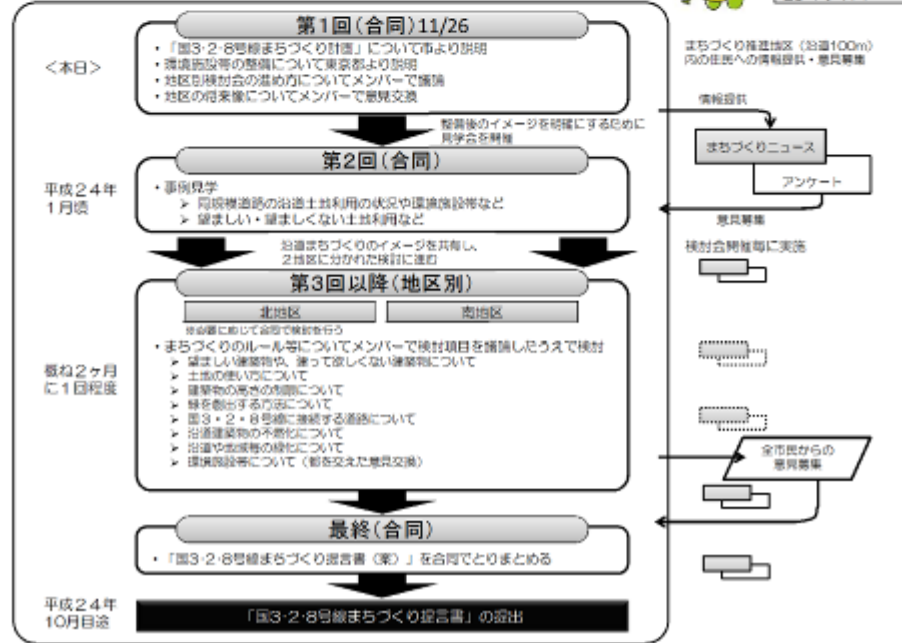
身近な生活環境

- ・ 国3・2・8号線に接続する道路について
- ・ 沿道建築物の不燃化について
- ・ 沿道や地区毎の緑化について（※ 環境施設帯の検討の中で検討）

地区別検討会プログラム(案)



配布資料3



自己紹介 ～地域への思い～



- 好きな街はどこですか？好きな理由は？
- 街の将来イメージについて
どのように考えていますか？

意見交換

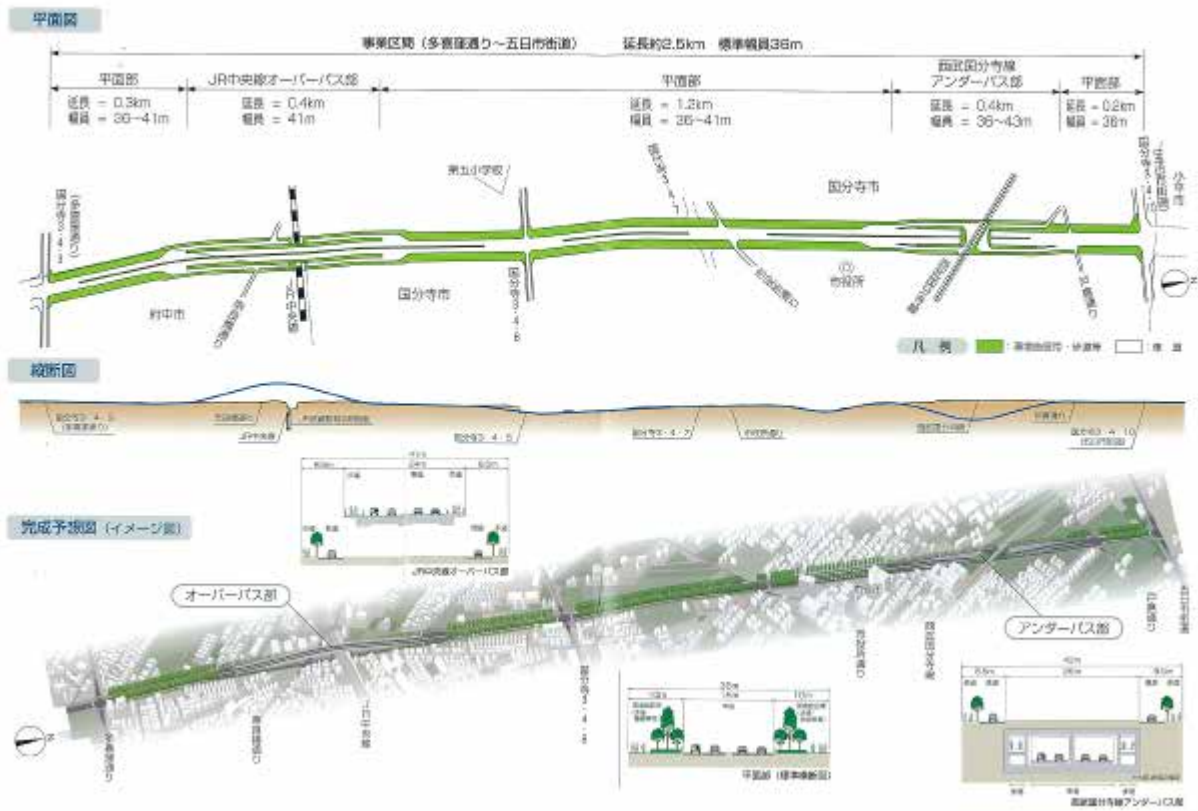


- 地区別検討会の進め方・
検討テーマについて
- 環境施設帯について
- 次回見学会で行きたいところ 等

3. 掲示資料

国3・2・8号線の概要

国3・2・8号線の概要

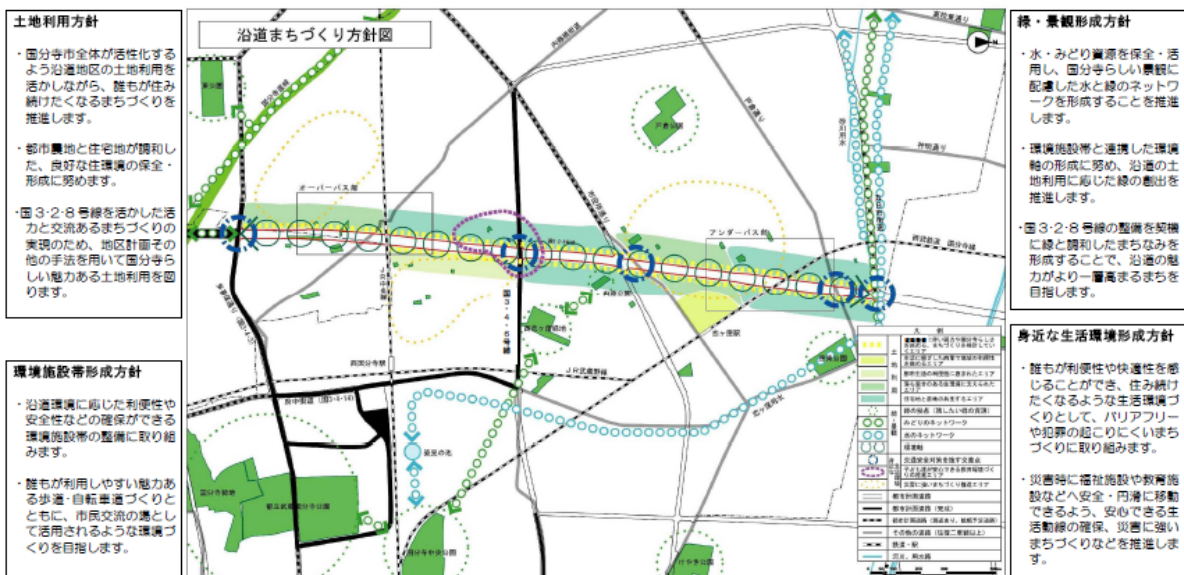


まちづくり方針図

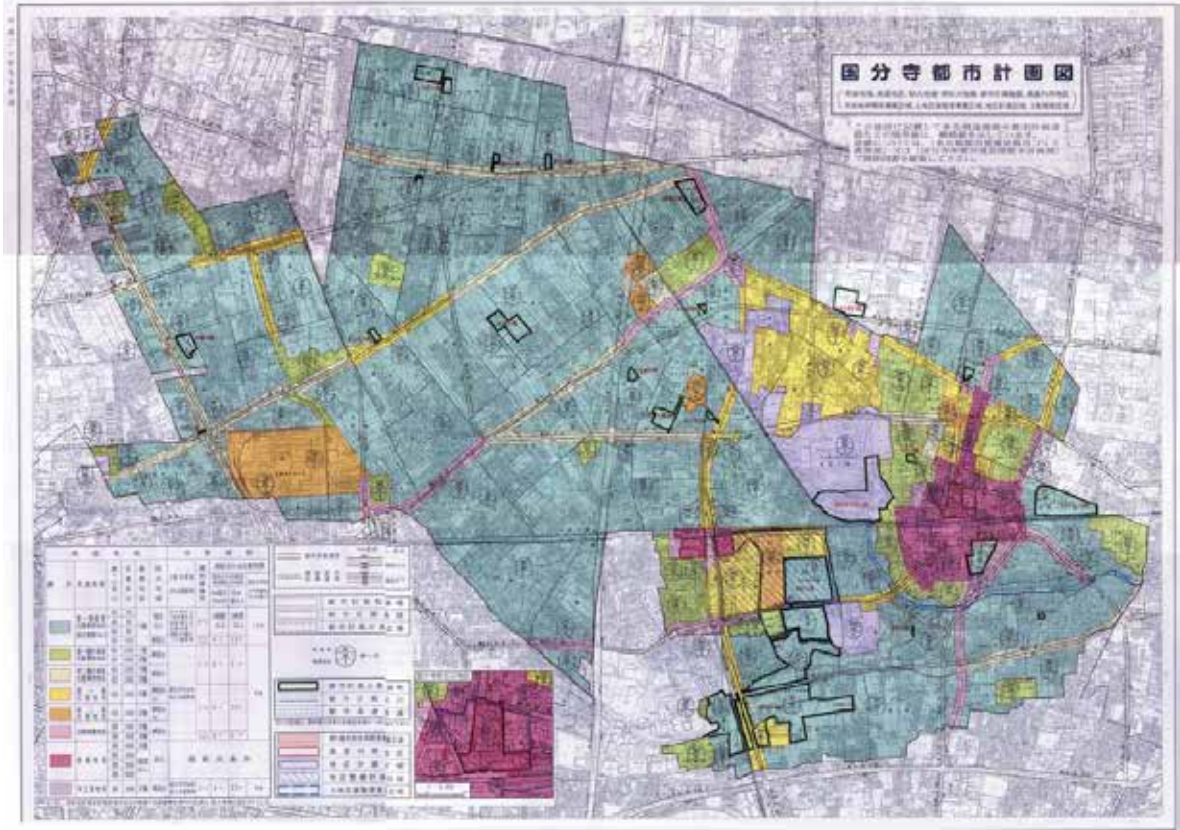
■ 国3・2・8号線沿道まちづくり方針

沿道まちづくりの方針は、基本理念を踏まえて、市民・国分寺市・事業者（東京都）基本方針は、『土地利用』『緑・景観形成』『環境施設帯形成』『身近な生活環境形成』

が将来像の実現化のため取り組むべき役割や、その方向性を示したものです。の4つです。



都市計画図



国 3・2・8 号線への横断施設設置に関する市の方針について

国 3・2・8 号線への横断施設設置に関する市の方針について

日常生活においてよく使う道路について、まちづくり推進地区にお住まいの方にアンケート調査を行った結果、以下のような幹線道路の利用が多い傾向がみられました。
(市民全員を対象とした広域調査においても、同様の傾向として、幹線道路の利用が多い傾向がみられました。)

●幹線道路で利用が多い道路

- ◆新線道路沿路線 (①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧)

これらの道路は、横断施設設置予定箇所および横断可能箇所となっています。

また、幹線道路以外では、以下のような道路についても利用が多い傾向がみられました。

●幹線道路以外で利用が多い道路

- ◆市役所裏 (⑨)～⑩/戸倉一・二・四丁目～志ヶ窪駅方面の動線
- ◆日吉町四丁目 (⑪) / 市役所通り～国 3・4 号線沿道の商業施設、西国分寺駅方面の動線
- ◆日吉町一丁目 (⑫)～⑬ / 日吉町一・四丁目～国 3・4 号線沿道の商業施設、西国分寺駅方面の動線
- ◆内藤一丁目 (⑭)～⑮ / 内藤一丁目～西国分寺駅方面の動線

これらの道路について、移動の傾向を分析した結果、右記の横断要箇箇所により、視覚の動線はほぼ担保されることとなります。



①～⑧
戸倉一・二・四丁目～志ヶ窪駅方面の動線
→
要箇箇所 A (市役所裏) の横断で動線担保

⑨
市役所通り～国 3・4 号線沿道の商業施設、西国分寺駅方面の動線
→
要箇箇所 B (市道中 204 号線) の横断で動線担保

⑫～⑬
日吉町一・四丁目～国 3・4 号線沿道の商業施設、西国分寺駅方面の動線
→
要箇箇所 C (市中央本線高架下) の横断で動線担保

⑭～⑮
内藤一丁目～西国分寺駅方面の動線
→
要箇箇所 D (京成線通り高架) の横断で動線担保